

### 第3学年 国語科学習指導案

日時 令和2年1月29日(水) 5校時

場所 図書館

1 単元名 「論語」後輩達へ贈る言葉

- 2 単元目標
- ・「論語」の言葉を進んで音読し、図書資料等を用いて孔子の考え方を理解しようとする。
  - ・「論語」の言葉が表す内容を、具体例を用いて表現し、後輩に自分の考えが分かりやすく伝わるような文章が書けている。
  - ・伝統的な言語文化の中にある言葉を引用して、後輩にメッセージを書くことを通して、それらに親しむことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度【関】	書くこと【書】	言語についての知識・技能・理解【言】
「論語」を進んで音読し、孔子の考え方を理解しようとしている。	「論語」の言葉が表す内容を、具体例を用いて表現し、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書いている。	伝統的な言語文化の中にある言葉を引用して、後輩にメッセージを書くことを通して、それらに親しもうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

「論語」は、古代中国の思想家である孔子の言葉を、弟子達がまとめたものである。短い文の中に、現代に生きる私たちにも十分共感できるメッセージが込められている。本単元では、「論語」の言葉を取り上げ、その中から後輩達へのメッセージとしてふさわしいと考えられるものを選ぶ。後輩達へのメッセージを考える際に、論語の内容に即した具体的な場面を書かせることで、論語が遠い昔の世界の話ではなく、今の時代にも通じるものの見方や考え方を内包していることにも気づかせることができる教材である。

(2) 生徒観

省略

(3) 指導観

メッセージを考える過程で、ワークシートに書き下し文、訓読文、現代語訳の三つの文を書かせることで、読み方や置き字といった漢文特有の表現に触れさせたい。また、音読を繰り返す中で、漢文のリズムのよさや言葉の力強さを感じさせたい。

論語の言葉をもとに、具体的な場面を想像することにつまずきを覚える生徒が多いと予想される。図書館の資料から、具体的な場面が出ているものを見せたり、早く書き上がった生徒の例を紹介したりする等の手立てを講じる。

完成したメッセージは、今回使用した図書資料とともに3月に多目的ホールに掲示し、卒業生からの贈る言葉として後輩たちに披露したい。

5 単元指導計画（全4時間 本時2 / 4）

目標	時	主な学習活動	関	書	言	評価基準（評価方法）
教科書の「論語」を音読し、既習事項を確認する。	1	教科書の音読をする。漢文の既習事項を確認しながら、「論語」や「孔子」について知る。	○			・漢文について知っていることを積極的に述べている。（行動観察）
教科書の「論語」の内容を読み取り、後輩へのメッセージにふさわしいと思う章句を選ぶ。（本時）	2	図書資料を活用して、教科書の「論語」の内容を読み取り、その中から、後輩へのメッセージとしてふさわしいと思うものを選択する。			○	・テーマにふさわしい章句を選んでいる。（ワークシート）
選んだ言葉をもとに、後輩へのメッセージを書く。	3	進行状況を班で確認する。「論語」の言葉が示す状況を具体的な場面に置き換えて、後輩へのメッセージの中に書く。		○		・具体的な場面を想定してメッセージを書いている。（ワークシート）
メッセージを班の中で発表し合う。	4	お互いの考えたメッセージを発表し、聞いた感想を書く。必要があれば修正を加えて作品を完成させる。	○			・他の生徒の発表を熱心に聞いている。 （行動観察、感想用紙）

6 本時の学習

(1) 目標 班ごとにテーマを割り振り、個人で「論語」の図書資料を読み、テーマにふさわしい章句を選ぶことができる。

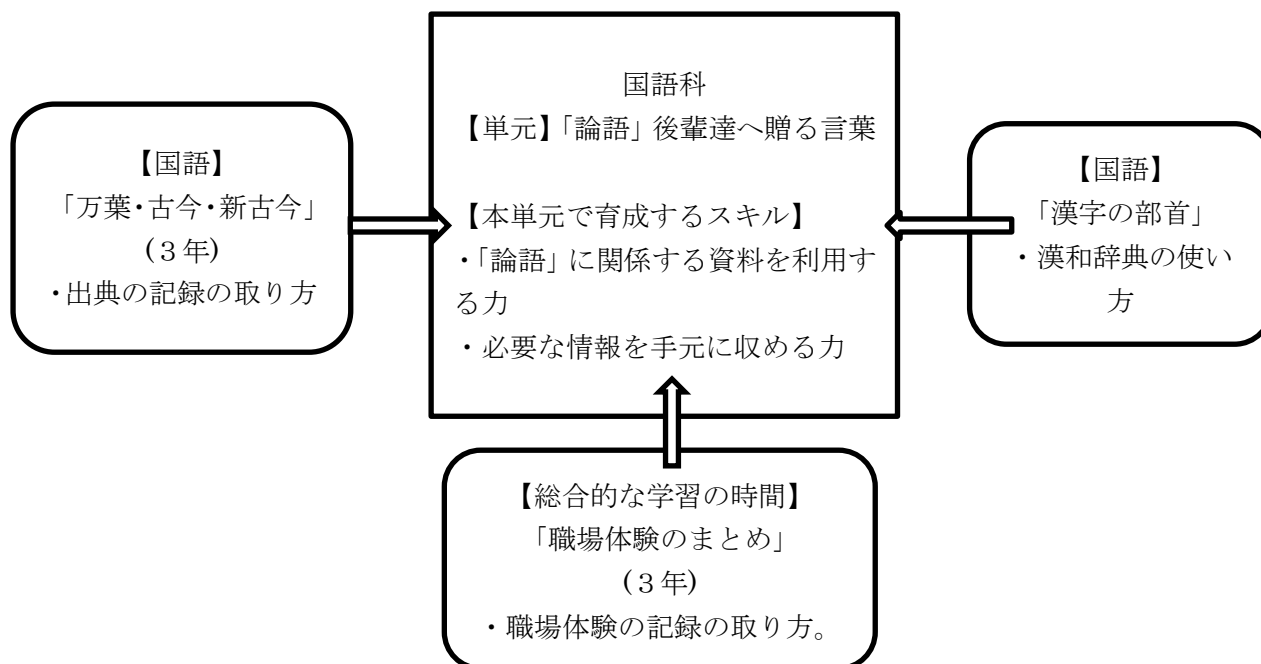
(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点（・）と支援（◎）
1. 本時の学習の見通しをもつ。(2分)  2. 課題を把握する。(3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の見通しがもてるように、1時間の授業の流れと作業時間の目安を提示する。</li> <li>・班ごとのテーマの確認と、課題を達成するためのワークシートの使い方を説明する。</li> </ul>
<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「論語」を読んで自分の考えをもち、テーマにあった章句を選ぼう。</p> </div>	
3. 活動に使う資料の説明を聞く。(5分)  4. 個人で資料を読み、テーマにふさわしいと思う「論語」の言葉を選ぶ。(30分)  5. 選んだ章句の書き下し文や訓読文、現代語訳などをワークシートに記入する。(5分)  6. 本時のふりかえりと、次時の予告を聞く。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎辞書等を使って、資料を読む助けにするよう呼びかける。</li> <li>◎書き写す際に、置き字等の漢文特有の表現に注意するよう呼びかける。</li> <li>・本時の取り組みの姿勢でよかった点を伝える。</li> <li>・次時は班で進行状況を伝え合い、後輩へのメッセージを考えることを伝える。</li> </ul>

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
資料を活用しながら全ての「論語」を読み、意味を理解した上で、テーマにあった章句を選んでいる。	資料を活用しながら二つ以上の「論語」を読み、意味を理解した上で、テーマにあった章句を選んでいる。	現代語訳を参考にしながら、言葉の内容を自分達の身近にある出来事に置き換えさせ、意味理解が進むように支援する。

## 7 単元構成モデル案



## 8. 研究協議の概要

参加者	校内	9名	校外	7名	計	16名
<p>【よかった点(図書館に関するもの)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な文献資料の提示があった。(難易度も様々であった)</li> <li>・完成作品の見本があった。(ゴールイメージがもてた、流れが見通せた)</li> </ul> <p>【課題・改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「『学校図書館の資料を活用する』ということ、どのようなイメージを持ってやっているのか。他教科で、どのように図書館を活用して、子ども達にどのような力がついているのか。学校としてどうしていきたいのか。」ということが意見としてあがった。今年度の取り組みを通して、子ども達は資料の中から必要な情報を自分で見つけられるようになったが、情報をまとめることが難しいと感じている生徒が多いことが分かった。来年度は学校図書館が中心となり、まとめる力を子どもたちにつけていきたい。</li> <li>・具体例を考えるのに、図書資料だけでは思い浮かばない生徒もいるので、資料をもとに考えたことを意見交換するとよかった。</li> <li>・資料によっては、漢文の書き下しに差があったので、国語科として漢文の知識(置き字、書き下し文、読み方など)をきちんとおさえておきたい。</li> <li>・出典、参考資料の扱いをきちんと指導する。</li> </ul>						